

令和5年9月5日

学校関係者評価報告書(対象:令和4年度)

旭川荘厚生専門学院  
学校関係者評価委員会  
委員長 杉本 尚平

「令和4年度学校自己評価報告書」に対し、学校関係者評価を実施しましたので、概要を下記のとおり報告します。  
記

1 開催日 令和5年7月31日(月) 15時から16時30分

2 場所 旭川荘厚生専門学院会議室

3 外部委員

岡山県立瀬戸南高等学校 校長	長谷川 陽子	高等学校関係者
厚生専門学院後援会 会長	岡崎 倫三	元保護者代表
ローバル国際こども園 副園長	江田 加代子	元児童学科長・関連業界関係者
旭川児童院 看護課長	大月 道子	卒業生・関連業界関係者
旭川敬老園 副園長	常国 修治	卒業生・関連業界関係者
みちる保育園 保育士	溝尾 早苗	卒業生・関連業界関係者

4 実施方法及び公表

「令和4年度学校自己評価」を外部委員が確認し、各項目に対する意見を述べてもらった。また、後日提出された書面評価表の意見を取りまとめた。評価結果は今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ上に公開する。

5 評価及び意見

評価項目に対する外部委員の評価及び意見、提案は、別添「書面評価表」のとおり。

非常に適切 :10~8

適切 :7~6

やや不適切 :5~4

不適切 :3~1

(1) 教育理念・目的

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
					長谷川	岡崎	江田
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.5	7.9	8.4	7.9	長谷川	9.0	8.5
学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.3	7.9	8.3		岡崎	8.0	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	7.6	6.6	7.4		江田	9.0	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	7.4	6.6	7.3		大月	8.0	
各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	8.1	7.6	8.0		常国	9.0	
					溝尾	8.0	
					計	51.0	
<p><b>【職員記述】</b>            ～旭川～            ■「理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等」について広く周知していくための方法、手段に工夫が必要。            →3学科が融合しあって特色が出せる授業やイベントがあれば良いと考える。(保育士といっても看護や介護職の理解や知識を持った幅広い専門性を求められる)            →3学科の情報の共有とか育成人材像の共通点の確認など、教員同士の交流の場が必要。  <input type="checkbox"/>理念・目的はしっかりしている            →教育の質をさらに上げるために、教員の質向上や、学習環境の整備が必要。            ■大学への進学を希望する流れは止められない            →専門学校の魅力をいかに発信するかが課題。”安い、早い”を実感してもらう方策を考える必要がある。</p>							
<p><b>【評価委員記述】</b>            ・歴史と伝統がある総合医療福祉施設「旭川荘」の中にある学院として、教育理念・目的が教職員間での共通認識としてしっかり定着されているということは高く評価できると思います。            ・学院の将来構想という部分で、社会のニーズに合わせ3学科での（特に旭川キャンパス、吉井川キャンパスとの）教員同士の情報共有や目指す方向性の検討が必要なのかもしれません。            ・教員、学生、ともによく周知できていると思います。            ・教育理念・目的はとても明確であり将来構想をしっかり抱かれていますと思いますが、時代が変わり、教育も変わり、保護者や社会の福祉に対する考え方が変わり、なかなか学生に理解してもらうことが難しくなってきたように思います。福祉の心がわかる先生方が根気よく、1対1で関わり、その心が学生の心に響く関りを今以上にしていくしかないように思います。            ・先生方が学生にどんな学びをして欲しいと考えているか、どの様な社会人、職業人になって欲しいと考えられているかがよく伝わります。            ・それぞれの学科に教育理念・目的が取り入れられていると感じました。</p>							

(2) 学校運営

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
					長谷川	岡崎	江田
目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.4	7.0	7.4	7.3	8.0	7.7	
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.5	6.8	7.3		7.5		
運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化され有効に機能しているか	7.5	6.8	7.4		7.5		
人事、給与に関する規程等は整備されているか	7.4	7.9	7.5		7.0		
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.5	7.3	7.5		8.0		
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.4	6.9	7.3		8.0		
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.5	6.6	7.3		計		46.0
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.9	6.9	6.9				

【職員記述】

～旭川～

- 運営方針の具体的な内容が伝わりにくい。
- 組織の意思決定に関しては上層部だけで決定しており決まった後に報告がある。  
→全員の考えを確認することは難しいことではあるが、意思を表明する機会を作ってほしい。  
→課長会参加者は、所属職員の意見を持ち寄る必要がある。
- 各課、科の分担内容を各教職員がよく理解してくれる必要があると感じることが多々ある。  
→教職員一人ひとりの意識改革が必要ではあるが、他の課、科のことは他人事と思う傾向（どこの職場でも）があり、永遠の課題かもしれません。
- 再就職後の給与が決まっているのであれば、担任や実習等の手当を考えて欲しいと思う。同じ業務内容なのに手当がつかないことに「なぜ？」と思う。
- 学生数、授業回数、実習病院数に対しての教員数が不足している。各教員の担当や役割に十分専念出来ていない。多重課題を抱えている。教員の高齢化が進んでいる。本来専任教員に求められる研究発表等に時間を費やすことができない。
- 学内回覧文書のペーパーレス化  
→できるところからメールを活用する  
→タブレットのグレードアップをすることで、より外部への発信内容のクオリティが上がると思う。写真機能、アプリ導入等
- 事務的業務のシステム化をもう少し進めて欲しい。（集金などは振込にする等）  
→年度初めの国試対策費等、また、年数回のワクチン代は現金集金となっており、確認作業に時間もかかり、大金を保管する必要がある。  
→預り金用の郵貯口座を作り振込用紙による集金にしてはどうか？電子書籍代徴収にも利用でき業務の効率化となるのではないかな？

～吉井川～

- 考え方が古い。伝統、真面目さと古いのは違うと思う。新しい意見が通らないことが多い。  
→話を聞いて変えられる所を変えていくことが大事。真面目さだけでは学生は集まらない。

【評価委員記述】

- ・「情報システム化等による業務の効率化」については、できるところから進めていく必要があると思います。特に、お金を直接扱う事務的業務のシステム化は必須だと思います。
- ・小さなことでもボトムアップで教職員の意見を吸い上げ学校運営に反映するなど、今の時代に合わせて変化していくことも大切だと思います。
- ・意思決定に職員の意見も採用してほしいという主旨の意見がありましたが、できる限り全員での決定というスタンスを取ってほしいと思います。
- ・概ね運営方針に沿った学校運営はできていると思いますが、やはり、時代の流れに沿った考え方も取り入れていく必要があるのでは。そのためには、学生も含め各科の教員で、また、学院全体で意見が言える場を設け、しっかり話し合い、全職員が責任をもって学校運営に取り組む姿勢が見られるようになれば、いろいろな新しい魅力ある取り組みができるのでは。いろいろなところをシステム化することは必須。時代から取り残されます。
- ・資料の記述を見ると、まだまだ効率化できる部分があると思いました。

(3) 教育活動

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
					長谷川	岡崎	江田
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	8.2	7.8	8.1	7.6	長谷川	8.0	8.1
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	8.1	7.6	8.0		岡崎	8.0	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.3	8.0	8.2		江田	8.5	
キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.7	7.4	7.6		大月	8.0	
業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しの実施	7.7	6.6	7.5		常国	8.0	
関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	8.0	7.5	7.9		溝尾	8.0	
授業評価の実施・評価体制はあるか	7.2	6.1	7.0		計	48.5	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	7.4	6.4	7.2				
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.2	7.0	8.0				
資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.2	7.8	8.1				
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.5	7.3	7.4				
関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	7.1	6.8	7.0				
先端的知識・技能等の修得や教員の資質向上のための取組が行われているか	6.9	6.6	6.9				
職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.7	6.8	6.7				
<p><b>【職員記述】</b>            ～旭川～  <input type="checkbox"/>個人的にスキルアップのための資格取得、研修参加は行っている。  <input checked="" type="checkbox"/>授業評価の実施、人材確保などの課題が有る（授業の質、教員の質）            →外部講師についてはなかなか踏み込めないが、教員同士、授業の連携を図りタテ、ヨコの繋がりを持つことの工夫が必要。  <input checked="" type="checkbox"/>コロナ禍で教員の研修参加がほとんどできていない。            →関心がある分野、あるいは教員として必要な研修への参加の計画を立案する。  <input checked="" type="checkbox"/>人材育成について明確でないと感じている。一人ひとりの能力に対する個人目標の設定が不明確。  <input checked="" type="checkbox"/>教員の質向上、教育力向上のための研修など必要。            →専門の講師など定期的に招いて教員への研修実施  <input checked="" type="checkbox"/>臨床から教員を呼び込むには教員の給与所得の増額が必要と考える。            →給与が病院と決定的に違うため調整ができると良い  <input checked="" type="checkbox"/>一昔前の教育方針（厳しさ）は、今の学生に向いていないと思う。            →一方的な教育ではなく、学生に寄り添いながら自主的に学ぶ力を伸ばしていく必要がある。  <input checked="" type="checkbox"/>改正障害者差別解消法の施行により合理的配慮の提供が義務化される。            →障害があることで他の学生と平等に教育を受けることができない場合、その社会的障壁を取り除く必要がある。学生から申出があった場合に、学生と学校との建設的な対話に基づき、学生の意見を尊重しながら、学校・教員の過重な負担にならない範囲で、双方の「合意」のもと支援が必要となるが、学院・学科としてどういう学生を受け入れ、どのような教育を行い、どういった人材を育成するのかを、ホームページやシラバス等に具体的に記述し公開する必要がある。  <input type="checkbox"/>専門学校存続の生命線は、いかに社会で通用する資格を確実に取らせることだと思います。            ～吉井川～  <input checked="" type="checkbox"/>授業評価について、統一評価基準を設ける必要がある。            →授業評価基準を定め、評価を反映させた教育・質の向上へつなげる。</p>							
<p><b>【評価委員記述】</b>            ・学科等のカリキュラムの体系的編成や資格取得等に関する指導体制がきちんと位置付けられていることが分かります。            ・教員のスキルアップのための研修と教育の質の向上のための統一授業評価基準の設定が必要だと思います。            ・学生のニーズに、実態に応じた教育のあり方は考えていく必要はあると思います。            ・入学した学生が資格取得して卒業し専門分野で社会に貢献できる人材の育成に日々取り組まれている様子が伺えますが、更に資質を高めるために職員の積極的な研修への参加、外部講師の要請など取り組んでいく体制が整っていけば、より向上につながると思います。            ・教育活動の拡充のために教員の研修機会を確保できると良いと思います。            ・教員の外部派遣等に取り組まれていると伺いました。</p>							

(4) 教育成果

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均	
就職率の向上が図られているか	8.3	8.6	8.4	7.6	長谷川	8.0
資格取得率の向上が図られているか	8.3	8.3	8.3		岡崎	8.0
退学率の低減が図られているか	7.3	7.5	7.3		江田	8.8
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	6.9	7.6	7.0		大月	8.0
卒業後のキャリア形成効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	6.8	7.4	6.9		常国	8.0
					溝尾	8.0
					計	48.8
<p><b>【職員記述】</b></p> <p>～旭川～</p> <p>■個々に課題を抱える学生が多い中、ひとりひとり丁寧にかかわるための時間が必要。 →担当科目の準備、学生対応のバランスをどうつくっていくかが課題。</p> <p>□現下の学生募集状況では退学率のアップは避けられないが、それを高校に正直に伝え、ポジティブに捉えてもらっている。</p> <p>■志願者のほとんどを入学させれば学力低下は避けられません。当然退学者もやむを得ず増えると思いますが、児童や、介護への転科をしっかりと勧めていく必要は今以上にあると思います。 →その際、C科、E科の先生もその話に加わって専門家としてのアドバイスを。結果として学生本人が納得して退学していけば本人の将来には必ず光がさしてくると信じます。</p> <p>■退学者・休学者が多い →学生相談室や担任に相談に行けない学生もいるので気軽に話ができる場所があっても良い気がする。(相談室に行くほどのことでもないが悩んでいる) 例えば、生活のことを聞いてほしいなどは、比較的敷居が低い事務職員が担当するなど。</p> <p>■退学者が出ないように様々な支援を行っているが、専門職養成以前に、学習態度、生活態度、学力、意欲が伴わない入学生が増えている。 →推薦入試の見直し。簡単な実技テストの導入など。</p> <p>■卒業生の活躍、離職率などを把握しきれていない →学生確保に向けても卒業生のキャリア形成など、こまめに情報を収集し発信していく必要がある。</p> <p>■日々の業務に追われ卒業生の把握ができない。 →定期的に学科だよりを発刊し、卒業生とつながる工夫をしていく。</p> <p>□実習病院や学校を訪ねてくる卒業生の把握はしている。 →卒業生全体の活躍状況や動向の把握が課題。卒業生にキャリアについて、話をもっとしてもらう機会をつくることも必要かと思う。</p> <p>■卒業後のキャリア形成に関しては、専門知識の差異もありアドバイスできる内容が限られている。 →情報を集約する役割を設けてアドバイスできる幅を増やす</p> <p>～吉井川～</p> <p>□国家試験合格者を毎年100%にする。 →個別指導のさらなる強化。多様性に対応した学習習慣の確立。</p>						
<p><b>【評価委員意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率が高い、国家試験の合格率が高いということが、教育成果として数字で目に見える部分だと思います。</li> <li>・「退学者、休学者が多い」という記述がありますが、学生一人ひとりに寄り添いながら、それでも退学者が出ることは仕方ないと思います。その場合でも、本人が納得し、前向きな選択になれば決して貴学院で学んだんことは無駄にはならないと思います。</li> <li>・「退学者、休学者が多い」という記述がありました。家庭的なものか、精神的なものか、対応も必要ではないかと考えます。</li> <li>・先生方の並々ならぬ努力で資格取得率、就職率は高いと思います。入学時、資格を取得させて卒業させることができるだろうかと不安に思う学生も多くいたと思いますが、そういった学生にも丁寧に指導を行い就職に漕ぎつけた学生も多くいたと思います。その指導方法は是非、学生さんを通し、ツイッター、YouTube等で宣伝された方がよいと思います。</li> <li>・先日、勝山高校の副校長と顧問の先生との話の中で、旭川荘厚生専門学院はとてもいい学校なので、生徒さんを送ってほしいという話をしたところ、旭川荘にはとても丁寧に学生指導していただいている。本当にありがたいと思っている。という声がありました。どの学科の先生も「ここまでされるかな」というほど学生指導を一生懸命している。</li> <li>・卒業生が専門職として学生募集などに参加する機会が設けられると良い。</li> <li>・看護師国家試験については全国平均をやや下回っているものの、介護の100%合格は立派だと思います。</li> <li>・学院生は素朴な服装できちんとしている。先生方の指導がいきわたっているんだろうなと感じました。</li> </ul>						

(5) 学生支援

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
					長谷川	岡崎	江田
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	8.1	8.0	8.1	7.6	8.0	8.3	
学生相談に関する体制は整備されているか	8.3	7.5	8.2		8.0		
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	8.1	7.4	8.0		8.8		
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	8.1	7.3	7.9		8.0		
課外活動に対する支援体制は整備されているか	7.1	6.3	6.9		8.0		
学生の生活環境への支援は行われているか	7.5	7.1	7.4		9.0		
保護者と適切に連携しているか	7.9	7.5	7.8		計		
卒業生への支援体制はあるか	7.4	7.0	7.3		49.8		
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	7.4	7.1	7.3				
高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか	7.1	6.8	7.1				

【職員記述】

～旭川～

■学校としての支援（奨学金）が用意されていない。

→返還有の奨学金制度を作る。

□住居費支援制度の創設は良かったと思います。

□学科としてとても手厚く相談体制をとっていると思う。その分、他の業務へのしわ寄せがあるので、人、時間、業務内容等考えなければならないと思う。

■障がいがある学生の支援体制作りが課題

□「学生の生活環境への支援」は学科内で努力中

□合理的配慮を必要とする学生が多いが、個別に丁寧な対応ができています。

■学生相談は今後どんどん増えてきます。

→全教職員が”教育相談者”であるという意識を強く持って我が子を育てる親の気持ちを常に心に持ち、学生と接していくことが学院の基本理念「敬天愛人に通じる。ひいては学生募集にも繋がっていくと思います。一生懸命丁寧に育ててくれる専門学校としての流れは、今後も一層必要となってきました。

■行事準備で、教員、学生への負担が大きい。

→人員増、細かい分担

■コロナ禍で課外活動自体が休止していたが、教員が「やる・やらない」を決めると仕事が増えるのを避けたい気持ちから「やらない」を選択してしまう。

→「やる人だけがやる」にならないよう、教員全員で取り組む工夫が必要。

→就職を担当する専任教員の配置

□本学院の特色あるカリキュラムで卒業した学生の能力について評価し、研究としてまとめると良い。

■他の専修学校等も厳しい状況であり、他校との連携は困難な状況

□学院を訪ねてくる卒業生については動向把握ができていていると思うが、卒業生の活躍は学生募集にも有効活用できる情報となり得るので、こちらから積極的に情報集してはどうか。定期的にHP等に「活躍する卒業生」をアップするなど。

～吉井川～

■再試験の受験料が高い。経済的に厳しい学生が多い中、アルバイトと学業の両立を考えると高いと思う。

→再試験料の減額。それによって学業への意欲が低下するとは考えづらい。留学生の受け入れがあるため、その点も考えていきたい。

→岡山県内の専門学校・大学で再試験料を徴収していない学校もある中、「厳しさ」だけが独り歩きしていかないか心配。学生募集に影響があると思う。

【評価委員意見】

・経済的支援が必要（奨学金、再試験料）な学生は今後増えてくるので、学生募集との兼ね合いで、何ができるか検討する必要がある。

・教育相談、合理的な配慮が必要な学生に、先生方がきちんと対応されようとしていることが記述から伝わってきました。

・小・中学校でも教育相談週間を設けるなど工夫しています。学生に寄り添う体制づくりがほしいです。

・学生への生活支援、教育相談等は各科熱心にされているように思います。今後、合理的配慮の必要な学生はさらに増えてくるように思います。そういったことに対応できる体制づくりは必要だと思えます。学生にとって、“居心地の良い学院”であってほしいです。

・個々の学生への学習面での支援体制を充実させるために様々な工夫があると思う。

・障害のある学生に対して合理的配慮が行われている事は素晴らしいと思います。

・学生一人ひとりに対して親身に話を聞いてくれたり、常に気にかけてくれたりしていることを感じながら学校生活を送ることができている環境だと思った。

(6) 教育環境

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均	
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.2	7.3	6.4	6.8	長谷川	7.0
実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	6.9	7.5	7.0		岡崎	7.0
防災体制は整備されているか	6.9	7.5	7.0		江田	7.0
					大月	7.0
					常国	7.0
					溝尾	7.0
					計	42.0
<p><b>【職員記述】</b>            ～旭川～            ■環境美化のためトイレの床のみでも数年に一度プロの方にきれいにしてほしい。            →学生への無理な指導は悪影響。            →大掃除だけでも外部に依頼してほしい。定期的に行うことできれいになると思える。            →学生の掃除は日常のみとし、ワックスがけなどは不満となりやすく今後検討が必要。昔は当たり前のことが今の子はネットに悪口として書き込んでしまう。            ■館内は特に問題なく使用できるが、リズム棟、パソコン教室への移動が雨ざらしになるので大変。            ■男子更衣室は簡易のもので対応している。  <input type="checkbox"/>Wi-Fi がつながったのは非常に助かりました。(複数)            ■リモート講義用の大きい画面のPCがあれば良いと思った。            ■講義に必要なPCは講義毎に事務所で貸出している。            →講義毎に貸出すのではなく、各クラスに常設してはどうか？短い休憩時間で用意をする学生の負担も軽減するのではないか。            ■建物の屋根、外壁塗装をしてほしい。            ■児童福祉学科の学生も食堂が使いやすい、行きやすい雰囲気になるとありがたい。            ■学生を使用する机、椅子などの改善。長時間座っても疲れない。机ももう少し広いものが良い。            ■冬のエアコン使用については制限しないほうが良い。            ■各施設の老朽化が激しいと感じます。            →経営的、金額的な面もあると十分認識していますが、コツコツと改修していただければ、学生も喜ぶと思いますし、学生募集にもつながっていくと感じます。            →施設の老朽化は避けられないので、古いものを少しずつ更新していく            ■防災体制はあるが運用できるような訓練ができていない(コロナ禍であったため)            →防災意識を高めるための訓練を含めた取り組みが必要            →防災に対しての取組でどのようなときにどの様にするのか。訓練よりも先に教職員で連絡や学内での動きを把握しているかが少し疑問。            →学内で学生がいるときにどんな時にどの様にするのかということを、まず教職員での動きを確認しておくことが必要。</p>						
<p><b>【評価委員意見】</b>            ・昨年気になっていましたが、Wi-Fi 環境が整備されたことは良かったです。            ・高校生にとって教育内容はもちろん施設設備の充実、キャンパスライフの充実が進路先の決定に影響するので、予算との兼ね合いもありますが、教育上必要性の高いところから整備する必要があると思います。            ・施設がなかなか充実できないことが課題と思います。後援会の協力も視野に入れると良いと思います。            ・施設設備については、この部屋(教室)に来れば色々な教材が揃っていて最新のパソコンがあって、自由に使えるシンプルでおしゃれな部屋が作れたらモチベーションが上がるのでは。お金をそれほどかけなくても出来る案があったらいいですね。            ・学科を超えていろいろな話ができる場が必要。食堂もあるが、もっと楽しい雰囲気でお話ができるようなスペースがあればいろんな人とも友達ができ、学生生活が楽しくなるのではないかと思います。生涯の友ができ、本当に良かったという話が広がって聞けば後輩にも伝わっていく。            ・設備の老朽化に対しては母体法人の積極的支援を継続的なものとしてほしい。今後、医療福祉を担う人材育成につながると考えます。            ・環境美化はプロにお任せするべきでしょう。学生、教員が行うのは非効率です。</p>						

(7) 学生募集

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均	
学生募集活動は、適正に行われているか	8.0	6.5	7.7	7.6	長谷川	8.0
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.7	6.6	7.4		岡崎	8.0
学納金は妥当なものとなっているか	8.0	7.0	7.8		江田	8.3
					大月	8.0
					常国	8.0
					溝尾	7.0
					計	47.3

7.9

【職員記述】

～旭川・吉井川共通～

■通信制高校への募集強化

→通信制を利用する子も増えているのではないかと、そして、進学希望者も増えていると思います。

■旭川荘の良さを伝えていく方法を探る

→高校生は SNS を活用。先輩からの情報も大きい。主婦層など、手に職を付けたい人に対してもターゲットに考えていく。

■学生募集活動における教育成果の盛り込み方の工夫

□高校ガイダンスがどの程度オープンキャンパス及び入試につながっているのか見えにくいので数値化したい。

□環境や設備は学生が志望校を決める大きな要因だと思う。

■一般のボランティア活動にも参加し、今以上に学校の宣伝が必要。

■学生募集上ネックとなっているのは交通の便が悪いことです。学生数が岡山駅からの距離に反比例してしまうのが残念ですが、今の学院のおかれている素晴らしい環境を今後も前向きに捉えて PR していきましょう！

■HP の更新が少ない。SNS をもっと活用すると良いと思う。学生募集のアイデアが古い。

■学生の満足度（楽しみの部分）が低いと感じる。

→単に人数を確保するのではなく、学ぶ意欲のある学生の確保。

→学生数減少の中経営のことを考えると検定料値下げ、学費下げる、〇〇補助などではなく、学校の教育に付加価値をつけていく必要がある。教育の充実、就職率や国家試験合格率など。

→この学校に来て学びたいと思うものをアピールしていく。学費などはほかの私学と比べて安いので、これ以上お金を安くしても受験の決定打にはならないと思います。そのためにはある程度の力を備えた学生確保が必要であり、教員も教育力向上のための研修日と時間の確保が必要。長い目で見たときに教育力の高い学校、付加価値のある学校が生き残るのではないかと思います。

→提案から実現までのスピード感が大事。

→在学生に入学理由、改善点を改めて調査し、結果について検討し、学生募集に活かす。

→学生による広報委員を作り、リアルな声を拾う場を作っては？学生主導のインスタグラムを開設しては？ インスタグラムはセンスが問われ、それにより閲覧者数も左右されるので、担当者が研修や講義等を受講しスキルアップしてはどうか？

→教育成果を把握し、ガイダンス等で高校生に周知することで募集活動へ活かす（入試広報課と学科の連携）

■学校行事が地味すぎる。

→卒業式の服装を自由にするなど、学生の満足度を考えていく。学生の SNS が学生募集にもつながる。学生の親の気持ちも考えると、卒業式がスーツのみなのは盛り上がらない。自由が良いはず。

【評価委員意見】

・当日の会議の話題にも上がりましたが、SNS の積極的活用と発信をさらに推進していただければと思います。

・学生目線が高校生の共感を得ると思います。インスタグラムや YouTube などの動画も、1 分程度のショートムービーで発信するとよい。

・学院の知名度アップが必要です。そのためにマスコミの発信力を活用。例えば、地域貢献事業の取材依頼や毎年恒例行事であればマスコミも年間予定に入れる。取材を受けることで学校の認知度が高まる。

・SNS の活用に関して、最近の高校生はホームページをあまり見ない。SNS（ユーチューブ、インスタグラム）が主で、動画も 1 分から 2 分超えたら長いと感じているようです。

・学院のインスタグラムをみて、本当にいろんな活動をされていると感じました。

・瀬戸南高校では、岡山市東区主催の TikTok コンテストがきっかけで、生徒が動画を作ってみようとか、興味を持つということがありました。

・瀬戸南高校ではホームページ上に学校の魅力発信・発信をしているページがある。沼のようにもっと瀬戸南高校にはまってもらうという意図で、“#瀬南沼”と題して生徒目線の写真が掲載されている。写真、文章全てが生徒により作られており、先輩にあたる人たちが魅力発信してくれると、こんな楽しいことがあるんだなと思ってもらえると思います。

・学生募集については児童福祉学科が積極的にされたようですが、どの科も積極的にこちらから出かけ、学院の良さが伝わるまでアピールしていく。また、学生を巻き込んでいろいろな方法で情報発信をしていく必要があると思います。学生に募集方法のアイデアを相談しながら進めることで、良い案が浮かぶかもしれないのでぜひ実現していただきたい。

・今後予測される学生数の動向等も踏まえ、“今どきの学生”の関心に添うことが期待されます。

・どの学校も募集に苦労されている中で、頑張っていると思います。

・交通の便が少し悪いと感じるが、それ以上に学校の良さはたくさんあるので、もっとその部分が伝わると良いと思った。

・本当にいい面がいっぱいあるのに外部に発信できていない。学生目線で発信していくというのは非常に良いと思った。

・TV を見ている毎年美作大学が七夕の時期に、浴衣を着て授業を受けたり、子どもを呼んでいることをしたりしている様子がマスコミにより発信されている。学院も、特色ある毎年いいことしているということをマスコミに言うこと、楽しいことが伝わるようもっともっとマスコミを使うことをされたいんじゃないかなあと感じている。皆さんに伝わる方法を考えられたらいいと思う。



- ・学生はここで学びたいと思っきていると感じることが多々ある。
- ・SNS 発信に関して、ナースとして羽ばたくまでの姿を追ってみる。初めてナース服を着た時、戴帽式、初実習、一人の学生の1年次から2年次、3年次へと継続的に成長する姿を継続的に発信する。
- ・高齢者施設など、いろんなどころに出て行く。旭川荘の学生が来てくれたとか、畑を借りて、芋を作ってボランティアで訪問してもいいし、出て行って交流を深めることが大切。子どもが来れば親も来る。先輩と広報に出てもいい。
- ・今の人はきれい、かわいいを好む。本部に応援してもらって建物をきれいにする。子供の数は少ないけど学校がきれいというところもある。
- ・伝統と誇りを前面に押し出していく。
- ・SNS 発信を大事にしながら伝えていく。旭川荘も広報が苦手で、これだけの規模、研究、学会も行っているのにもかかわらず、HPを見てもそのことがわからない。このままだと、旭川荘も選んでもらえなくなる。旭川荘自体も同じ問題を抱えている。「旭川荘の花火見に行きました」から話が始まり、そのことがきっかけで楽しい面を知ってもらうのも良いのではないか。
- ・SNS 発信は、最初は見る人が少なくてもどこかで見てくれる人がいる。今の子は文章を読まない。動画です。しかもショートを好むようです。

(8) 財務

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4.9	4.3	4.9	6.6	長谷川	7.0	6.7
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5.9	6.3	6.0		岡崎	7.0	
財務について会計監査が適正に行われているか	7.8	7.0	7.7		江田	6.0	
財務情報公開の体制整備はできているか	7.8	7.7	7.8		大月	6.0	
					常国	7.0	
					溝尾	7.0	
					計	40.0	
<p>【職員記述】</p> <p>～旭川～</p> <p>■人件費の抑制が課題 →学科の統合なども含めた検討が必要</p> <p>■学生数減による収入減 →学生募集による学生確保が厳しいので、定員減や募集停止も視野に入れる。看護学科定員120名を80名に減員しても在学者が90名以上確保できないようなら、思い切って40名にしてみることも必要かもしれない。教職員の年齢も上がってきており定年退職等の自然減も期待できる。 →事務職員については効率化及びスキルアップを図り、1人が多数の業務をできるようにしなければならないと思う。 <input type="checkbox"/>配付プリントは原則白黒印刷（両面）にし、PDFデータをGoogle classroomに掲載し、必要な学生が共有できるようにする。</p>							
<p>【評価委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「財務基盤の安定」についての項目が低く、これは学生募集で定員を満たすことと密接な関係があるかと思います。「定員減」についての意見がありましたが、慎重に検討される必要があると思います。</li> <li>・学生数の増加が一番だと思います。</li> <li>・特に収入については、学生を増やすしかないと思いますので、学生募集に力を入れていかないといけないと思います。</li> <li>・スリム化も視野に入れる</li> <li>・学生が少なければ収入も上がりません。費用の抑制にも限界はあると思います。</li> <li>・1万人以上の多くの卒業生もいるので、寄付を募ってみては。お金を持っている人に出してもらってもいいのでは。</li> </ul>							

(9) 法令遵守

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.3	7.8	8.2	7.8	長谷川	8.0	8.4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	8.1	7.4	7.9		岡崎	9.0	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	7.3	6.8	7.2		江田	8.5	
自己評価結果を公開しているか	7.9	7.9	7.9		大月	8.0	
					常国	9.0	
					溝尾	8.0	
					計	50.5	
<p>【職員記述】</p> <p>～旭川～</p> <p><input type="checkbox"/>学科独自の授業や学生支援等における自己評価も必要と思う。 <input type="checkbox"/>自己評価結果は毎年ホームページ上に掲載し広く社会に周知している。</p>							
<p>【評価委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守については外部の者からは分かりにくいのですが、「問題点の改善」が必要なことがあれば、緊急性の高いもの、危険が伴うものを優先的に、できることから取り組まれたら良いのではないかと思います。</li> <li>・概ねできていると思います。</li> </ul>							

(10) 社会貢献

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均	
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.8	7.5	7.8	7.9	長谷川	9.0
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.2	7.8	8.1		岡崎	8.0
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	7.8	8.8	8.0		江田	8.3
					大月	8.0
				常国	8.0	
					溝尾	8.0
					計	49.3
8.2						
<p><b>【職員記述】</b>            ~旭川~            ■広く活動することを奨励していない（教員の裁量に左右されることがある）ため、限定的になってしまう。            →地域の授業内でもボランティア活動を混ぜていくのが良いと考える。            →地域に対する公開講座は介護福祉学科で実施しているが、児童福祉学科や看護学科でも年1回でも良いので実施してみてもどうか？コロナ禍で実施できていなかった学院祭も来年度以降は実施予定なので、その日にあわせて企画してみてもどうか？（学生募集につながるのではないかな？）  <input type="checkbox"/> コロナ後はさらに活発にしていきたい。  <input type="checkbox"/> 学院の存在そのものが社会貢献である。</p>						
<p><b>【評価委員意見】</b>            ・様々な社会貢献や研修を行っていることが分かりました。            ・ボランティアなど、コロナ禍でできなかったことも多いと思いますが、できる方法で無理のない範囲で取り組まれたら良いのではないかと思います。            ・幼児との関わりなど、積極的に進めればよいと思います。            ・2年間（児童、介護）という在籍期間の中で、単位取得、資格取得、アルバイト等忙しい中で、地域へのボランティア活動など社会貢献をしていくことは時間的には難しいと思いますが、せっかく専門的な知識、技術を持っているので、それを活かした地域社会への貢献はどんなことができるのか考えて実践していただきたい。特に、旭川荘内だけでなく、外での実践が必要であり、そのことが学生募集にもつながっていくのではないかと思います。            ・コロナ後の活動に期待しています。</p>						

(11) 旭川荘との連携

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目平均	外部委員 大項目評価・平均		
行事等においてお互い協力できたか	7.6	7.0	7.5	7.5	長谷川	8.0	8.1
旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.1	8.1	8.1		岡崎	8.0	
人事交流を行っているか	7.3	6.7	7.2		江田	8.3	
旭川荘への就職希望者はいるか	7.4	6.0	7.2		大月	8.0	
					常国	8.0	
					溝尾	8.0	
					計	48.3	
<p><b>【職員記述】</b></p> <p>～旭川～</p> <p>■旭川荘への就職希望者が増えているとは言い難い。          →旭川荘の人事担当、募集担当の方に直接話をさせていただく機会を設ける          →旭川荘で働く魅力を現場の方から直接伺う機会を設けたい（例；保育士資格を施設職員となった時にどのように活かすか？など）</p> <p>□講義の講師では、旭川荘職員の方に大変お世話になっている。          ■希望ではない施設への配属          →就職については学科の専門性が活かせる職に配属してほしい</p> <p>□各施設の学院OB・OGの会をもって学生募集への協力依頼や、意見をもらうことがあっても良い。          □旭川荘は西日本では一番規模の大きい社会福祉法人と聞いています。今後も、本学院の卒業生を中心としての各施設としっかり連携していきましょう。          □旭川荘施設でのアルバイトについて、時給の面で経済的な支援をしていただいている。</p> <p>～吉井川～</p> <p>■配属施設について、希望が叶わないことも多い。          →学生への特典として希望の施設へ行けるなど、社福とのさらなる連携を図る。          ■「旭川荘への就職希望者はいるか」については年度によって差があるが、受験しても落ちたり、また、合格しても希望した配属と大きく違っていることもあるという先輩方の話から、躊躇することもある。</p>							
<p><b>【評価委員意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭川荘は医療福祉の世界では大きなブランドであり、その中にある学院として連携を行い、そのメリットを生かすことで学生に還元できる。例えば、就職を希望部署に配置してもらえるようにするなど。その特色（魅力、メリット）を積極的に外部に伝えていくことが大切だと思います。</li> <li>うまくいっていると思います。</li> <li>旭川荘と連携した活動はできていると思います。就職希望について、旭川荘はどこに配属になるか分からないという理由で就職希望者がほとんどいないというのが現状である。私としてはいろいろな施設でいろいろな経験をするのは悪いことだとは思いませんが、せめて、新採用の時は希望の施設へ配属させてあげる方がモチベーションも上がり頑張れると思います。そういったことを是非、人事担当者と話し合い、最善の努力をしていただきたい。</li> <li>旭川荘厚生専門学院の先生方は学生のために本気で頑張ってください。少子化の時代の中で、また、岡山県は大学、専門学校が多い中で学生を集めることは至難の業だと思います。</li> <li>アルバイト学生に、もう少し勤務日数を増やしてほしい（シフトに入ってほしい）。</li> <li>コロナ禍で予定されていた実習先に行くことができなかった時に、旭川荘は、急にもかかわらず受入れしてくださった。</li> </ul>							